





経腸栄養分野コネクタ製品の国際規格への切り替え

経腸栄養分野におけるコネクタが、従来の製品から国際規格に統一される動きに伴って、こども医療センターでも2020年10月（変更の可能性あり）から一斉に新しい国際規格製品に切り替える予定です。

【新しい国際規格コネクタの特徴】

- 誤接続・誤注入防止
他分野との相互接続防止
- ロック式接続
不意の外れ防止
加圧時の外れ防止
- 国際標準規格
緊急時の安定供給

	従来国内規格	新国際規格
投与側 栄養セット・注入器	 オスコネクタ	 メスコネクタ
留置側 カテーテル	 メスコネクタ	 オスコネクタ

新しい国際規格について、従来国内規格製品との差異から、取り扱い上の注意点が指摘されています。その点を確認するために、新規規格製品を院内で試用の上で検討して参りました。

【新国際規格製品の取り扱い上の注意点】

1. 少量の薬液などの吸い上げには、**採液チップ**付シリンジ（1ml, 2.5ml）を使用する。

薬液吸引用の“採液チップ”



栄養剤吸引用の“採液ノズル”



（株式会社ジェイ・エム・エス資料より）

2. 栄養剤（母乳、ミルク含め）などの吸い上げには、**採液ノズル**を使用する。
3. コネクタどうしの接続や取り外しの際には、**留置側コネクタ**（オス側）に液体が付着しないように操作してください。（別紙参照）

※ 新旧製品の混同を防ぐ目的で一斉に切り替えるため、相互変換アダプターは採用しません。

【留置側オスコネクタに液体を付着させないように接続するための操作方法】

1. 投与側コネクタ先端まで液体を満たさない（コネクタ部に空気を残す）よう注意します。
2. 投与側コネクタを下にして、留置側コネクタを上からかぶせるように接続してください。



3. 確実に接続・ロックしたのちに投与を開始します。
4. 接続を外す際も、液面をコネクタ接続部より低くして、留置側コネクタを上にして外すことで液体付着を極力抑えられます。
5. 外した後は、コネクタ接続面を拭き取ってからキャップをしておきます。

※ **留置側コネクタ**（オス側）に付着した液体を清掃するための専用デバイス JMS「EN スワブ」やその他の関連製品を販売しているメーカーもあるので、ご希望際には別紙取り扱い業者にお問い合わせください。こども医療センターとしての取り扱いはありません。



2020年7月

神奈川県立こども医療センター診療材料検討委員会

参考資料

【経腸栄養分野コネクタ関連製品の取り扱い業者】

- ヤガミホームヘルスセンター横浜 (<https://www.yagami.co.jp/yhhc/>)
横浜市神奈川区西神奈川 1-11-3 TEL: 045-315-0185



- にじの家 (<https://www.facebook.com/seyarainbowhouse/>)
横浜市瀬谷区中央 17-22 TEL: 045-465-6528
Mail: ippansyadanho.nijinoie@aqua.plala.or.jp



- メディカルスマイル (<https://www.medical-smile.com/>)
通販のみ TEL: 0120-3816-54
EN スワブ商品ページ (<https://www.medical-smile.com/shopdetail/000000006025>)



【経腸栄養分野関連製品のメーカーサイト】

- JMS (<http://medical.jms.cc/useful/iso/index.html>)
- TOP (https://www.top-tokyo.co.jp/product/connector/keicho_eiyo.html#movie)
- ニプロ (<http://med.nipro.co.jp/servlet/servlet.FileDownload?file=0155F000007oeBh>)

※ いずれも医療関係者向けのページです。

※ JMS のサイトには、関連製品の使い方などの動画も掲載されています。